

●meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動（報告書印刷、イベント運営等）のオフセットにご活用いただいています。2019年度末までの償却分は57トンとなっており、2020年度以降の償却分として43トンが持ち越されています。

2019年度使用実績

- ◎ イベント運営／エコライフ・フェアMINATO 2019
- ◎ 印刷物製作／mecc活動報告書（本誌）

mecc会員事業者であれば、mecc保有のカーボンオフセットをご使用いただけます。ぜひご活用・ご相談ください。



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール（VOCの一種）等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP（Computer to Plate）方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。



みなと環境にやさしい事業者会議 2019年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内（3F）  
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282  
Mail info@mecc-minato.net

発行日 2020年6月1日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局



みなと環境にやさしい事業者会議  
minato eco-conscious consortium

2019年度活動報告書

## 設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、わたしたちみんなの責務です。

利便さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量破棄という社会スタイルを、市民、企業、行政をはじめとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特徴を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでにない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたしたちのネットワークは、そんな大いなる可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で15年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行われる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地域環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として。業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイデアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。

## ごあいさつ

みなと環境にやさしい事業者会議におかれましては、「打ち水大作戦」や「企業と環境展」など、事業者・区民・区の協働の場となる様々な活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対し、厚く御礼申し上げます。

港区の人口は、昨年9月に26万人を超え、区政80周年を迎える7年後には30万人に達する見込みです。3月にはJR山手線で49年ぶりの新駅となる高輪ゲートウェイ駅が開業し、区内はますます活気に満ちています。

一方で、人口が増加し、さらに経済活動が活発になることで、今後も温室効果ガス排出量やエネルギー消費量の増加が見込まれます。

現在、区で排出されている二酸化炭素の8割が、建築物に起因するものです。この現状を踏まえ、二酸化炭素排出量が多い建築物に対して、排出実績や取組内容の届出・公表を義務化する「港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例」を今年3月に制定し、来年4月から施行します。今年度は施行に先がけて、省エネルギー性能の高い建築物を新築する建築主に対して新たな助成制度を開始しました。

さらに、今年度から秋田県大仙市の木材資源を活用したバイオマス発電によって作られた電気を、2つの区有施設に導入し、再生可能エネルギーを利用した環境負荷の少ないまちづくりをより一層推進しています。

今後も、地球温暖化の防止のため、再生可能エネルギーの普及促進をはじめ、事業者への省エネ取組の支援等の施策を着実に進めてまいります。

会員事業者の皆様におかれましても、環境負荷の少ない社会経済活動への転換について、一層のご協力をお願いします。

今後も、会員事業者の皆様が環境問題解決に向けた取組を通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



港区長  
武井 雅昭

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議（mecc）は、日本の環境分野をリードする会員事業者の皆様とともに歩みを進めてまいりました。会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今では、海洋プラスチックごみが世界で注目され、深刻な問題となっています。すでに世界の海には1億5000万トンものプラスチックごみが存在していると推計されています。これらのプラスチックに海洋生物が絡まったり、えさと間違えて誤飲したりするなど、海洋環境や生態系に大きな影響を与えています。

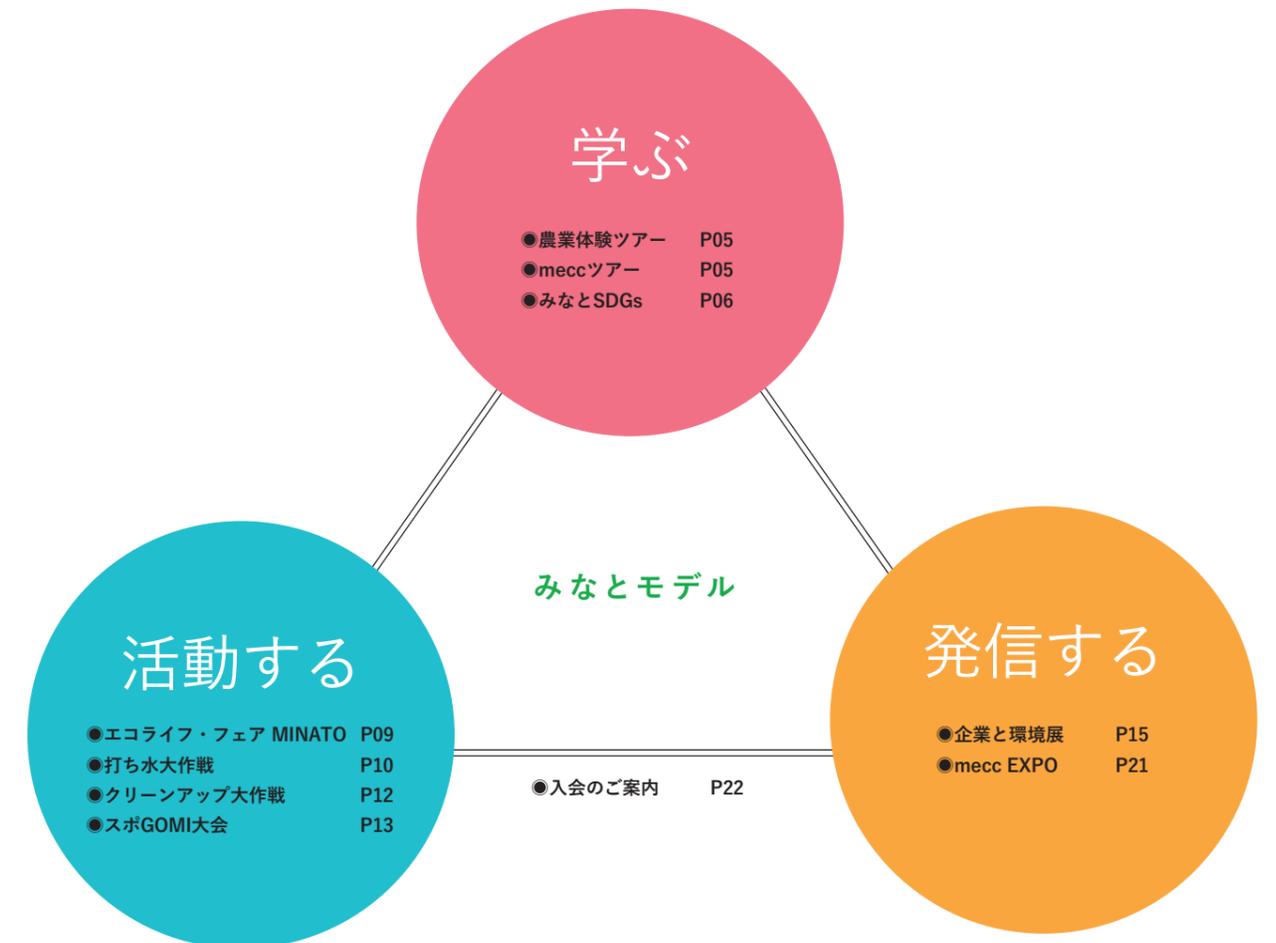
このような中、区は、今年4月に「港区役所『使い捨てプラスチック』削減方針」を定めました。令和3年度末までの2年間で区役所から排出する「使い捨てプラスチック」を実質ゼロにするために、全庁で徹底して取り組んでいます。

みなと環境にやさしい事業者会議においても、昨年9月にプラスチックケミカルリサイクル工場に見学に行く等、プラスチックごみ問題について理解を深める活動を行っています。事業者も自治体も協力して、プラスチックごみを削減するための取組を実践していかなければなりません。

みなと環境にやさしい事業者会議は、大切な地球環境を守り、次世代に引き継いでいくため、区民、区、事業者の皆様と協力し、様々な事業に積極的に取り組む必要があると考えております。今後も、区を取り巻く状況を踏まえつつ、引き続き「環境先進都市港区」の実現に向け、様々な取組を展開していきたいと考えております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。



みなと環境にやさしい事業者会議 会長  
港区副区長  
小柳津 明



- 日時：2019年5月16日（木） 15時30分～18時00分
- 講師：環境省 総合環境政策統括官 中井 徳太郎氏
- 参加事業者：あすか製菓株式会社、NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社NJS、株式会社ソニーミュージックエンタテイメント、オイシックス・ラ・大地株式会社、株式会社大林組、笠井設計株式会社、鹿島建設株式会社、カワセ印刷株式会社、サイオス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、昭和電工株式会社、株式会社知識経営研究所、都築電気株式会社、テクノプロ・ホールディングス株式会社、東京ガス株式会社 東京中支店、株式会社東京フォレストパワー（東京共同会計事務所）、株式会社東京放送ホールディングス（TBS）、西松建設株式会社、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）、日本通運株式会社、株式会社博報堂、PHC株式会社、フィリップモリスジャパン合同会社、株式会社プロネクス、株式会社ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、港区、明治学院大学、森永乳業株式会社、森ビル株式会社、ヤマハ株式会社、横浜ゴム株式会社、リコージャパン株式会社

## 2020年度 総会

毎年、最初に開催される総会は、会員事業者も半数以上が参加し、年間スケジュールや予算などを話し合います。

冒頭には、武井港区長から港区の人口増加と昼間人口の増加を例に挙げ、meccの活動への理解への感謝とより一層の会員事業者の協力の必要性を述べられました。また、mecc会長でもある、小柳津港区副区長からは海洋プラスチック問題を挙げ「区民、区、事業者の協力でも盛り上げてほしい」と挨拶をいただきました。その後、2018年の活動報告と2019年の年間活動計画を発表しました。

講演では、環境省 総合環境政策統括官 中井 徳太郎氏に「地域循環共生圏の実現～日本発の脱炭素化・SDGs構想～」をテーマにお話しいただきました。第五次環境基本計画の基本的方向性と目指すべき社会の姿を中心に最新の環境省の活動や地域循環共生圏と気候変動適応策などを国として取り組んでいることを会員事業者にご紹介いただきました。



# 学ぶ

●農業体験ツアー ●meccツアー ●みなとSDGs

meccは、世界の動向を学びながらこれからを考えています。

CSRや環境問題だけでなく、SDGsへ変化している情勢を把握し、  
会員事業者が企業間を超えてお互いに積極的に学びあえる場を提供しております。

2019年度は、新しい2つの学びの事業を展開しました。

## 「つくる責任つかう責任」を次世代に伝える



### 農業体験ツアー



収穫後、子供たちは、その場で、ガブリ！白いとうもろこしは、生でも食べることができて、とっても甘かったです。スーパーとは違う野菜にびっくりしていました。

- 日時：2019年7月7日（日）9時00分～17時00分
- 実施場所：千葉県山武市
- 参加者：港区在勤、在住  
大人15名、子供8名【参加者合計：23名】

2 循環をゼロに

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも 守ろう

新事業・親子プログラム「農業体験ツアー」で、千葉県山武市の農家を訪問。収穫からスタート。子供たちは、スーパーで並んでいる野菜と違うことにびっくり！白いとうもろこしや空芯菜などを収穫した子供たちからは「とれたー」「大きい」などの歓声も上がりました。昼食は有機農法でとれた野菜。ふだん野菜を食べない子供も「美味しい」と食べる姿が印象的でした。最後は有機農法の堆肥場へ。堆肥は酒粕を混ぜてあるので、ほんのりと日本酒の香りがします。自然に分解され熱を発する堆肥は、中心部分で70度まで上がるそうですが、クレーンで掘り起こした部分は40度ぐらいで、お風呂ぐらいの温かさだそうです。初めて実施したプログラムでしたが、子供たちを含め大きな経験と自然の力を感じることができたと思います。



参加事業者の声  
明治学院大学 岩本氏

学年も学科も異なる4名の学生が参加しました。みんな、どの野菜も今まで食べた中で1番美味しかったと感激の様子。教育実習でフードロスについての授業を行ったことがある学生は「『生きた授業』をするため、この体験を今後に活かしていきたい」と語っていました。

## 「捨てる」から「リサイクルする」時代へ



### meccツアー/昭和電気「プラスチック ケミカルリサイクル」工場見学会



- 日時：2019年9月24日（火）10時30分～12時00分
- 実施場所：昭和電気川崎事業所（扇町）
- 参加者：昭和電気、ソニー・ミュージックエンタテインメント、世界聖典普及協会、テクノプロ・ホールディングス、日本通運、港区、明治学院大学（学生）、森永乳業、森ビル、横浜ゴム、レッグス、mecc【参加者合計：24名】

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

9 産業と資源循環の 革新をつくる

13 気候変動に 具体的な対策を

日本人は1人1日約1kgのゴミを排出し、ゴミ処分場へ運ばれるプラスチックゴミの約60%は容器包装のプラスチック素材と言われています。今回訪問した昭和電気川崎事業所では化石燃料を使わず熱分解をし、化学原料に再生する「ケミカルリサイクル手法」を採用、種類の異なるプラスチックが混在しても、素材ごとに分けずリサイクルが可能とのことでした。実際の処理施設で、プラスチックゴミを圧縮する工程や、ガス化炉の見学を行いました。参加者からは「プラスチックを燃やさずに、全てをリサイクルできる“ゼロエミッション”の仕組みに驚いた」などの感想を頂きました。海洋プラスチックの問題が大きく取り上げられていたため、定員を超える申込みがあり関心度の高さを感じました。



参加事業者の声  
レッグス 植田氏

廃プラスチックが従来品と同等のアンモニアに生まれ換わる事を学び、リサイクルの認識が大きく変わりました。そして、それらが我々の生産する新たな商品にもなる事を社内に衆知していく事で、さらなる環境問題への意識作りができるようになっていきました。

# 未来をつむぐ 新しい港区へ

## みなとSDGs



世界的な潮流となったSDGs。2019年の新しい事業として、区民と地域と企業を結ぶイベント「みなとSDGs」を企画しました。2016年、2017年と開催した「みなとアイデアソン」をブラッシュアップしたものです。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

日本企業でもSDGsに対して具体的に取り組む企業が増えていますが、多くの企業は未だCSRの一環としてSDGsを捉えている、というのが現状のようです。また、一方でSDGsをビジネスチャンスとして捉えた企業が注目を浴び、環境や社会に配慮した優良企業というイメージアップにもつながる好循環も生まれています。

meccも、環境だけでなく、最新のSDGs情報を会員事業者に提供したいと考えています。

2019年は、全4回開催し、様々な観点からSDGsを区民と考えることが出来ました。情報収集だけでなく、区民や事業者が集まり、今後の港区の在り方を話し合い、みんなでアイデアを出し合う素晴らしい機会となりました。



カードゲーム中にアイデアやチーム内でディスカッションをすることでイノベーションを創出。1人で考えるよりも大勢で考えたほうがアイデアもたくさん生まれました！

総参加人数

# 155名



### 第1回

SDGsの世界観を学びつつ、身近に感じようと一般社団法人イマココラボが作成したSDGsカードゲームを使用しました。第1回目は、区民や事業者合わせて、会場いっぱいの約50名が参加し、関心の高さが感じられました。このゲームは、ゴールを達成するために開発などを行うと、「経済、環境、社会」3つのパラメーターが変動します。自チームの利益だけでなく、各チームで資源を共有することが経済、環境、社会の満足度が高い結果になると学びました。

- 日時：2019年7月23日（火）  
18時00分～20時00分
- 会場：港区エコプラザ



### 第2回

海洋プラスチックの現状や、ペットボトル製品の消費量など数字を用いた解説からスタート。物の消費率が高い日本はSDGsを掲げる前に、個々のレベルから資源の使い方に気づき取り組むとき。リコージャパン鳴島氏から「SDGsの取組みと生物多様性保全活動」をテーマに自社製品を活かした過疎地の学校の遠隔授業の支援、荒川クリーンエイドのステークホルダー協働への働きかけ、社内の働き方改革「15時までには帰る、プレミアムワンデー」などを紹介頂きました。

- 日時：2019年9月10日（火）  
18時00分～20時00分
- 会場：港区エコプラザ



### 第3回

近年、実態がないのにSDGsに配慮しているように見せかけたり良い情報だけを伝える「SDGsウォッシュ」が見かけられます。SDGsウォッシュに陥らないために必要な「トレードオフ」と「Design for all」について学びました。グループワークでは、駅の案内表示、トイレ、まちの食堂から一つ選び、「トレードオフ」と「Design for all」の観点を持ち、本質的なSDGsのプロジェクトについて考えました。

- 日時：2019年12月3日（火）  
18時00分～20時00分
- 会場：港区エコプラザ



### 第4回

金沢工業大学が開発した「カードゲームX」を使ってゲーム。このゲームは、トレードカードに対して様々なリソースカードを使ってアイデアを出し、問題を解決するゲームです。アイデアの基準としては、環境、社会、経済などのバランスが取れているか、SDGsの路線に沿っているかなど、各テーブルで様々なアイデアが生まれ、盛り上がりを見せていました。問題解決に向けて、既存のモノを掛け合わせるイノベーションの起こし方も学び、新しい気付きが生まれました。

- 日時：2020年2月4日（火）  
18時00分～20時00分
- 会場：港区エコプラザ





# 活動する

- エコライフ・フェア MINATO ●みなと打ち水大作戦
- クリーンアップ大作戦 ●スポGOMI大会 in みなと

率先して動くことで周りを巻き込み、仲間を増やしていきます。

一社では、取り組みにくい活動もmeccを通して他の企業と連携することでイベントを開催できます。

活動は、SDGsの17のゴールにつながる内容で、イベント準備や当日は事務局がバックアップをさせていただきます。いずれも参加しやすい内容ですので、ぜひ一度ご参加ください。

## リサイクルすることで資源を守る

### エコライフ・フェア MINATO



「エコライフ・フェア MINATO 2019」meccブースにて、エコバザーを行いました。

エコライフ・フェア MINATOは、mecc設立当時から参加している港区主催のエコについて考えるイベントです。2019年は、港区に関わりのある21団体が参加していました。港区副区長のご挨拶のあとにエコライフフェアがスタート。meccブースは例年通り人気が高いブースの1つで、会員事業者から提供された文房具や書籍、ぬいぐるみや生活雑貨などが次々と売れていきました。会場で開催しているスタンプラリーク

イズでは「地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの中で、いちばん多い物質は？」という三択問題を出し、ラリー参加者とコミュニケーションを取りながら環境やmeccについて話す場となりました。ステージでは、子供から大人まで楽しめるイベントも多くあり、meccブース以外でも盛り上がりを見せていました。来場者からは「エコについて考える良い機会になっている」との声もあり、環境に対する意識が高まっていると感じました。



会員事業者からは様々なリサイクル商品が届きました。捨てるのではなくリサイクルしませんか？事務局では、基本的に何でも受け入れています。余ったノベルティなども大歓迎です！

エコバザー総売上

# 1,339,870円

- 日時：2019年5月18日（土）10時15分～15時00分
- 会場：港区立有栖川宮記念公園 エコライフ・フェアMINATO2019 meccブース
- 提供事業者：東京ガス東京中支店、DSM、森永乳業、森ビル、JAF、ROSSO、港区



参加事業者の声  
ROSSO 石井氏

毎年参加させていただいています。環境問題は、小さな取組みでも続けることが重要です。リサイクルなどは、取組みやすいので、自分たちが出来ることを実行して、地球環境を守っていければ良いと思います。また、来年に向けて社内でリサイクル品を募集していきます。

# 古の知恵と働く人をまきこんで意識を高める

## みなと打ち水大作戦



「打ち水大作戦」は、江戸時代の庶民の知恵「打ち水」がヒートアイランド現象に対してどのような効果を持つのか、決められた時間にみんなでいっせいに打ち水をして効果を検証しよう、という壮大な社会実験として2003年からスタートしました。

meccは、この「いっせい打ち水」の呼びかけを始め、港区で、雨水や2次利用水を活用した打ち水の生活習慣化に向けた活動を行っています。いまでは誰もが手軽に楽しくできるヒートアイランド対策、さらには地球温暖化対策の取組みとして、実際に気温を下げるのはもちろんのこと、その実施プロセスを通して、環境意識の啓発や水の再利用の促進、近隣コミュニティの再生など、様々な効果をもたらす呼び水となりました。「打ち水大作戦」は、かつてないほどの広がりや深さを持った市民運動です。

打ち水では、雨水や二次利用水を使うことが基本的なルールです。meccでは、芝浦の水再生センターの水を使用してい

ます。4～5カ所で開催しており、多くの事業者や一般参加者が一緒になり、カウントダウンで一斉に打ち水を行う姿は、大迫力です。

東京都環境局からはてぬぐい、港区からはうちわなどの土産もあり、楽しく参加できるイベントとなっております。

木桶や再生水などはmecc事務局が準備をするので、手軽に参加できます。少しの時間を地球温暖化対策として、会社の仲間と参加してみませんか？



会社の取組みとして大勢の方が参加しています。参加者には、東京都から提供された特製打ち水てぬぐいもプレゼント。夏の思い出になった様子でした。

総参加人数

# 1,674名



### 日比谷打ち水大作戦

- 日時：2019年7月31日（火）15時30分 打ち水開始 15時40分 終了
- 会場：三田駅A 9番出口歩道公園付近
- 主催：mecc ●後援：港区、長谷工コーポレーション
- 参加事業者：長谷工コーポレーション、NEC、森永乳業、リコージャパン、スズデン、三菱自動車工業 [参加者合計：107名]

会員事業者の声  
森永乳業 長井氏

日比谷通りの打ち水は、近隣の多くの企業が参加しています。都営地下鉄三田駅の出口付近から、日比谷通り沿いにずらりと並び、掛け声とともに一斉に水を撒く光景は圧巻です。社内でも毎年の行事として定着。気軽に参加できる活動として、さらに多くの方に体験していただきたいです。



### ハマサイト打ち水大作戦

- 日時：2019年8月1日（木）13時55分 打ち水開始 14時10分 終了
- 会場：浜松町駅北口交通広場
- 主催：mecc ●後援：港区、プロネクサス
- 参加事業者：プロネクサス、ダイフク、大林組、文化放送、日本道路、スズデン、ソニー・ミュージックエンタテインメント、昭和電工 [参加者合計：86名]

会員事業者の声  
プロネクサス 奈須野氏

「打ち水大作戦」をご一緒して、早10年近く。年々、確実に夏の暑さが増えています。小さなアクションを通じて、地球温暖化や気候変動リスクを考える良い契機になればと思っております。社員相互の、また地域の皆様との貴重な交流の場としても楽しませて頂いております。



### 赤坂打ち水大作戦

- 日時：2019年8月6日（火）15時30分 打ち水開始 15時40分 終了
- 会場：国際新赤坂ビル西館地下広場
- 主催：mecc ●後援：港区
- 参加事業者：鹿島建設、港区、博報堂、スズデン  
一般参加者：三菱地所、KISSポート財団 [参加者合計：28名]

会員事業者の声  
鹿島建設 秋葉氏

以前は弊社の支店が入居していたビルの地下広場。支店も別エリアに引越してしまい、予定されていた幼稚園の子どもたちの参加も中止になって、ちょっとこじまじりした打ち水となりました。人数は少なめでもしっかり打ち水の効果は出ていましたね！



### 竹芝打ち水大作戦

- 日時：2019年8月21日（水）17時10分 打ち水開始 17時20分 終了
- 会場：竹芝客船ターミナル広場
- 主催：mecc ●後援：港区
- 参加事業者：ソニーミュージックエンタテインメント、スズデン  
一般参加者：JR東日本、TKP、アクトテクニカルサポート、ホテルタビノス [参加者合計：41名]

会員事業者の声  
スズデン 手塚氏

今年初めて参加させていただきました。会員各社の皆様と全員で円を組み一斉に打ち水を行いました。使用する水の説明から、打ち水の効果に関しての解説等もあり、改めて地球環境を維持・継続していく上で、一人一人のアクションが重要と認識致しました。



# 街の美化からまちづくりを考える

## みなとクリーンアップ大作戦



11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

みなとクリーンアップ大作戦は、mecc設立時から続けているイベントです。毎年多くの会員事業者が参加されています。なかには新入社員研修に取り入れている企業もあり、ゴミ拾いをしながらチームワークを育み、コミュニケーションを図っている姿が印象的です。また、街を歩きながらエコプラザの周辺や浜松町の新しい魅力も発見できます。

当日は大型台風の影響でスタート時は小雨に降られたものの、無事に実施できました。出発の後、5チームに分かれてゴミ拾いをスタート。マンションの植え込みや道路脇にあるゴミを重点的に拾い集めました。「毎年参加しているが、新

しいビルが建ち、街並みや人通りが変わってきているせいか、ゴミが捨てられる場所も変化しているように感じる」 「昨年よりもゴミの量が多かったのが気になった」、「事業者として大きな取組みはまだできないが、クリーンアップ活動に参加して、環境に意識を向けることができ有意義だった」という感想がありました。

可燃ゴミは昨年の12袋を超える23袋が集まり、不燃ゴミ2袋、ペットボトル4袋、缶8袋、ビン1袋（1袋30L）を回収しました。参加者には熱中症対策として飲料と飴を配布しました。



拾ったゴミ袋  
※過去8年間 45Lを比重1として換算

# 1,100 kg

- 日時：2019年7月6日（土）9時30分～10時45分
- 場所：港区浜松町付近の道路
- 参加者：昭和電工、日比谷総合設備、PHC、大林組、森永乳業、NJS、サイオス、東京ガス 東京中支店、日本通運、港区【参加者合計：54名】

### 参加事業者の声 昭和電工 塩崎氏

心配していた雨も朝には上がり、無事清掃活動を行うことができました。弊社からは14名が参加し、割り当てられたエリアのゴミを協力して分別しながら拾って歩きました。業務上交流の少ない部署のメンバーとコミュニケーションをとる良い機会にもなっています。

# ゴミ拾いはスポーツだ!!

## スポGOMI大会inみなと



11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

スポGOMI大会は、2014年度に初開催し、年々参加者数が増加しているイベントです。

決められたエリア内を時間を決めてゴミ拾い。重量を数値化して、ポイントで順位を決定します。今年是一般参加が更に増え、2歳から73歳まで過去最多となる合計19チーム・83名が集まりました。その中には、東京出張中に環境活動がしたいと参加した名古屋の事業者もあり、環境活動への関心の高さと5年間継続してきた力を感じました。

例年よりもゴミが少なく苦戦を強いられましたが、その分ゴミを見つけた時には歓声が上がり必死に拾い集める姿が印

象的でした。どのチームも時間制限ギリギリまで隈なく探し回り、最終的には沢山のゴミが拾い集められました。

1位には港区提供の「間伐材まな板」とトロフィーを、みなとタバコルール賞はタバコの吸殻の重量が一番少なかった大学生有志チームに「タバコルール促進グッズセット」が贈られました。また、参加者全員に東京ガス提供の「エコカーテン」が配られました。

「今回地方から参加したが、行政・企業・一般参加者が一緒に取り組むモデルは好例で参考になった」などの感想を頂きました。



家族で参加される姿もあり小さな子どもも一生懸命トングを使ってゴミ拾い。来年も参加して入賞を目指してください！今年もたった1時間で100kgを超えるゴミが集まりました！みんなで新橋を綺麗にすると気持ちいいですね！

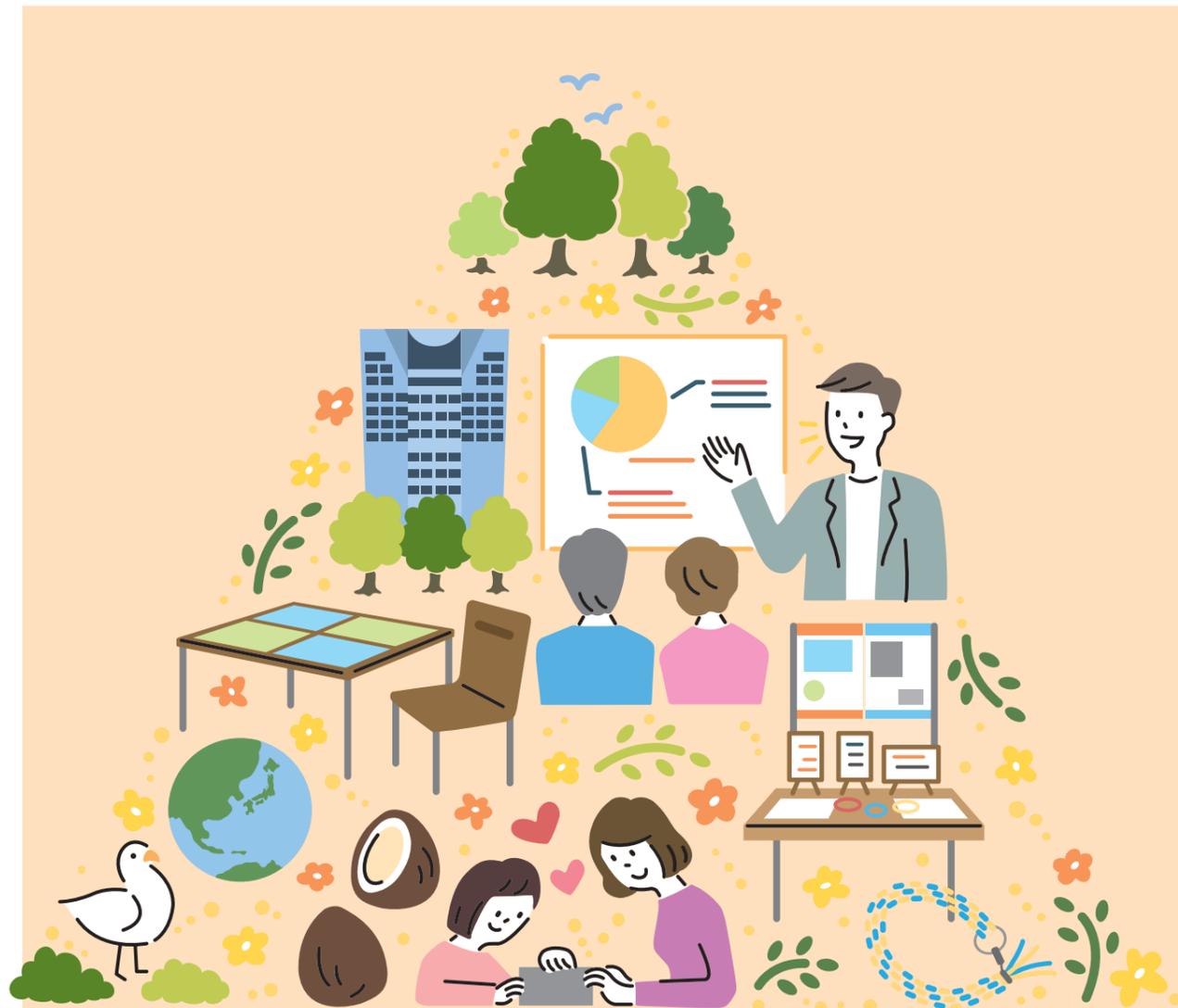
総参加数

# 400人

- 日時：2019年11月30日（土）10時00分～12時30分
- 会場：JR新橋駅周辺
- 共催：港区
- 参加者：合計 19チーム 83名
- 会員参加：東京ガス 東京中支店、PHC、港区環境課、レッグス（計4チーム）

### 会員事業者の声 東京ガス 東京中支店 堀田氏

昨年は家族と、今年は職場の仲間と参加させていただきました。スポーツGOMI拾いは、大人も子どももそれぞれに楽しめるスポーツです。子どもと一生懸命に歩き回るもよし。大人でよく作戦を練ってから挑むのも面白いです。



# 発信する

●企業と環境展（シンポジウム&事例紹介・親子ワークショップ）

●mecc EXPO

発信することで周りを巻き込み環境への意識を変えていきます。

発信することは企業ブランドイメージを支え、ファンを増やします。

SDGsの17番目のゴールに「パートナーシップで目標を達成しよう」があるように、

力を合わせることで問題解決につながります。

meccでは、発信することで、「新しい協働の場」を作り、

会員事業者間の連携「協創力」を考えます。

## 15年後の環境を担う人たちへ

### 企業と環境展



企業と環境展はmeccの活動で一番大きなイベントで、3日間に渡り六本木ヒルズで開催します。オープニングの金曜日はビジネス向けのプログラムが中心で、会員事業者から環境問題への取り組み事例や関連情報を発信していただき、業界を超えた横のつながりを図ろうとしています。環境問題への取り組みは、自社での活動はもちろんのこと、情報を発信して周りを巻き込んでいくことも大切で、そのために会員事業者が一同に集まり情報交換を行うことは非常に有意義です。そしてこうした機会をきっかけとして他社の活動から学び、自社活動を改善進化し、さらには協働によるイノベーションの創造にも発展して、meccの設立趣旨にある「新しい協働の場」

が実現することを目指しています。

続く土曜日、日曜日は、今年のタイトルにもなったスロガンにもなっている「15年後の環境を担う人たちへ」をテーマに、小学生向けの親子ワークショップを行います。今の小学生が大人になる頃に社会が環境危機に陥らないよう、環境問題に対する中長期戦略を立てながら着実に取り組みを進めている会員事業者の存在やその活動内容を、子供たちとその親に判りやすく理解してもらおう絶好の機会であり、抽選参加にもなるほどの人気で、参加者からは、親子で楽しく環境を学びながら家族で環境問題を考えるよいきっかけづくりになるとの好評をいただいています。

●日時：2019年 11月8日（金）、9日（土）、10日（日） ●会場：六本木ヒルズ2階「ヒルズカフェ/スペース」  
●特別協賛：森ビル

11月8日(金) 【会長挨拶】みなと環境にやさしい事業者会議会長/港区副区長 小柳津明  
【シンポジウム】『地球目線でみたSDGsの深層と未来デザイン』 文化人類学者 竹村眞一氏  
【会員事業者事例紹介】「LIMEXのテクノロジーと世界の環境負荷低減」 三井倉庫ホールディングス/TBM  
「有機農法と地域活性化」 ベジリンク

11月9日(土) 【親子で学ぶ環境ワークショップ】  
ココナッツでリップクリームを作ろう！ 提供：オイシックス・ラ・大地  
東大生と学ぶ クイズや実験で身近な環境問題を考えよう 提供：ベネッセコーポレーション

11月10日(日) 【親子で学ぶ環境ワークショップ】  
六本木ヒルズの庭園をめぐって鳥のクラフトワークを楽しもう 提供：森ビル  
レジ袋で「組みひも」を作ろう！ 提供：サイオス



冒頭は、meccの会長でもある小柳津港区副区長から挨拶をいただきました。事業者同士で名刺交換や情報交換する姿も見られ、よい交流のきっかけになりました。

# 新しい協働の場をイノベーションする

## 企業と環境展/シンポジウム&事例紹介



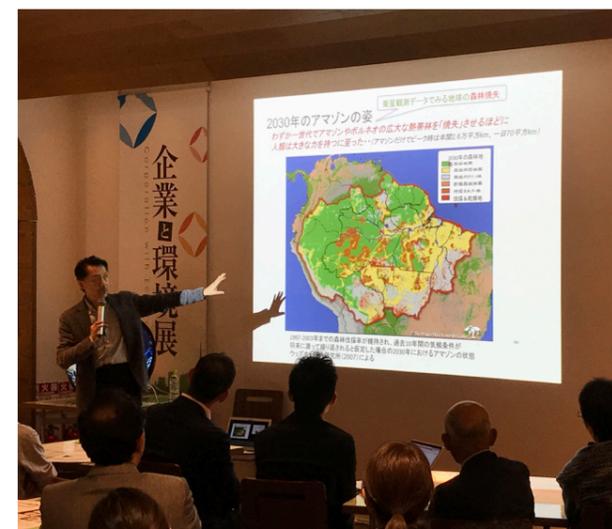
初日である11月8日（金）は、みなと環境にやさしい事業者会議 会長である、小柳津港区副区長の挨拶から始まりました。港区の環境に対する活動に理解と感謝、そして、「活動の継続だけでなく、加速していくために事業者の協力が必要である」とお話しいただきました。

最初のプログラムは、シンポジウム。「触れる地球」を立案した、文化人類学者 竹村眞一氏に登壇いただきました。次世代型地球儀「触れる地球」は、竹村氏が「地球目線で考えることができる21世紀の地球人を育てたい」と開発したもので、地球の温暖化や台風・津波の発生過程、渡り鳥の移動など、地球のダイナミズムを体感できます。自分の手で回して地球の裏側を確認したり、複数のコンテンツを重ねて表示したり、使用者のニーズに応じて多様なデモンストレーションが可能です。子供たちにも気候変動をわかりやすく伝えるコンテンツとして、展示会などを行っています。「触れる地球」を見てみると温暖化による地球儀の色の変化や森林伐採による砂漠化などが、視覚的に捉えられました。

会員事業者による事例紹介は、三井倉庫ホールディングスがパートナーとして取り組んでいるLIMEX（ライメックス）の紹介です。LIMEXは、石灰石を主成分としエコロジーとエコノミーを両立する革命的新素材です。世界中で豊富に存在する石灰石を使用することで環境負担の軽減につながり、すでに名刺など3,800社以上で採用。1箱で約10Lの水資源を守れる、地球環境問題に一石を投じる名刺用紙として国内外の

デザイナーアワードを数々受賞しています。プラスチックの代替としても注目されています。

最後の事例紹介は、ベジリンクが取り組んでいる有機農法。7月に農業プログラムで訪問した千葉県山武市から齊藤完一さんにお話しいただきました。その日の朝収穫した野菜を持参され、環境に負荷を与える農業資材や機械の使用もできるだけ控え、より自然に近い環境で野菜本来のパワーを引き出す農法や土にこだわり、堆肥にこだわり、食べてくれる人のことを思って作っているとお話がありました。持参いただいた野菜は参加者に配られました。



### シンポジウム

「地球目線でみたSDGsの深層と未来デザイン」 文化人類学者 竹村眞一氏

竹村氏は、サステナビリティが重要視されている理由の一つとして、世界人口が巨大化する「人類のガリバー化」を挙げていました。現代は多くの問題を抱え、持続可能な社会の実現は、気が遠くなるほどの道のりに見えるが、日本が思い切った革命を何度も実現することで希望があると述べられました。展示された触れる地球儀は、ほぼリアルタイムの気象情報や、大気汚染・温暖化のシミュレーション、渡り鳥の移動ルートなど、直径80センチの半球形ディスプレイに映し出されていました。



### 会員事業者事例紹介

「LIMEXのテクノロジーと世界の環境負荷低減」 三井倉庫ホールディングス/TBM

LIMEX(ライメックス)は、紙やプラスチック製品に替わる石灰石由来の新素材ですが、さらに、社会に浸透させるためにアップサイクルに力を入れています。アップサイクルとは、従来のリサイクルとは異なり、単なる素材の原料化や再利用ではなく、自由にカタチを変えることで、元の製品より価値の高いモノを生み出すことを目的としております。神奈川県と「循環型のまちづくり」に関してパートナーシップを締結し、各パートナーとともにLIMEXを軸に普及推進しております。

提供事業者の声  
三井倉庫ホールディングス 今野氏

当社は、LIMEXを運ぶ物流パートナーです。当社名刺や会社案内にもLIMEXを利用する事で、共同演者の(株)TBM様の事業に関わらせて頂いています。様々なカタチに変換できるLIMEXは、世界規模で環境負荷低減に貢献出来るので海外進出を期待しております。

### 会員事業者事例紹介

「有機農法と地域活性化」 ベジリンク

千葉県山武市で農業を営む齊藤さん。常に消費者のことを考え化学肥料や農薬に頼らない野菜づくりに取り組んでいます。齊藤さんは、「生産者・販売者・消費者の思いが一体となって安心・安全という信頼関係を築きあげることが大切。本来持っている力を取り戻せば自然はうまく循環し、自然によって人間が癒され、解放されることを一人でも多くの人に伝えたい」と紹介いただきました。朝収穫された、土がついている野菜はその場で食べることもでき、参加者からは「美味しい」との歓声があがりました。

紹介事業者の声  
ベジリンク 富松氏

短い時間でしたが、ご清聴ありがとうございました。「持続可能な社会」を都市部だけで考えるのではなく、農村とお互いに補完しあうことで達成できる、理想の社会があるのではと考えています。「これから」の取り組みと一緒に考えていければ幸いです。



# 環境問題をわかりやすく伝える

## 企業と環境展／親子ワークショップ



親子環境ワークショップは、企業と環境展での人気プログラムの1つです。例年、港区の小学校へチラシを配布して募集を行っていますが、今年は予想以上の申し込みがあり、環境問題に対する意識の高さが伺えます。また、様々なコンテンツを持っている会員事業者からも、地域の方にアピールできる機会と好評いただいております。

今年は4つの会員事業者が環境ワークショップを開催。オイシックス・ラ・大地提供の「ココナッツでリップクリームを作ろう！」はココナッツに触れる機会が少ない子供たちも、クイズを通して、環境問題やフィリピンの貧困問題を学んでいました。森ビル提供の「六本木ヒルズの庭園をめぐって鳥のクラフトワークを楽しもう」では屋上庭園での様々な植物の観察を通して六本木という大都会の中でも四季や自然を感じていました。サイオス提供の「レジ袋で『組みひも』を作ろう！」では身近なレジ袋が海洋生物に影響をあたえていることを学び、レジ袋をもらわない、捨てないことを考えました。

ベネッセコーポレーション提供の「東大生と学ぶ クイズや実験で身近な環境問題を考えよう」では水の実験を通してマイクロプラスチックの現状や4Rの大切さを学びました。アンケートでは、「また参加したい」や「子供に環境にふれてもらえる良い機会」「来年も参加したい」との声が多くありました。



子供だけでなく、親御様も一緒に参加され環境問題にうなずく様子や、試行錯誤しながら完成した作品で楽しく遊ぶ子供たちの姿が非常に印象的でした。

総参加人数

930名



提供：オイシックス・ラ・大地

### ココナッツでリップクリームを作ろう！

持続可能な社会に向け海外の取組み事例として、子どもたちの心に残ったと思います。リップクリーム作りは、親子でアロマエッセンスを選んだり、材料を混ぜたり、普段とは違うコミュニケーションで盛り上がる姿が。オリジナルリップクリームはそれぞれ匂いが違い、「学校に持って行って自慢したい」などの声が聞かれました。

提供事業者の声  
オイシックス・ラ・大地 秋元氏

ココナッツのことを学んだあとで、オリジナルリップクリーム作りにチャレンジしました。香りは自分で選び、ラベルも自分で作り、世界にひとつのリップクリームが出来上がりました。ココナッツに親しんでもらいながら、環境にも興味を持ってもらえました。



提供：森ビル

### 六本木ヒルズの庭園をめぐって鳥のクラフトワークを楽しもう

都会の子供たちが普段体験できない自然に触れることができました。森ビルの屋上庭園には、都会と思えないほどのいろいろな植物があり、時間を忘れるほどでした。クラフトワークでは作業しながらコゲラについて学びました。

提供事業者の声  
森ビル 浅野氏

通常非公開の六本木ヒルズの屋上庭園には四季折々の植物が数多く植えられており、子供たちは昆虫等の生きものまでしっかり観察してくれました。またクラフトワークを通して身近な鳥の子育てについて親子で楽しく学び、完成品は記念のお土産にいただきました。



提供：サイオス

### レジ袋で「組みひも」を作ろう！

スーパーやコンビニなどでよく使われているビニール袋。そのビニール袋がウミガメなどの海洋生物に影響を与えていることを学びました。身近なビニール袋を組みひもに加工するとストラップになることは、新しい発見で、学校でも組みひも作りが流行るかもしれません。

提供事業者の声  
サイオス 林氏

当日は皆さんが楽しそうにレジ袋で上手にストラップを作っていて感動しました！日頃からスーパーで「レジ袋をもらわない」事の大切さが伝わっていましたらとてもうれしいです。サイオスではこれからもプラスチック削減に力を入れて取り組んでいきます。



提供：ベネッセコーポレーション

### 東大生と学ぶ クイズや実験で身近な環境問題を考えよう

なにげなく使っている水について、東大生の実験で学びます。実験を通して、マイクロプラスチックの現状や4R (Refuse「リフューズ」、Reduce「リデュース」、Reuse「リユース」、Recycle「リサイクル」) の大切さを子供たちに伝えることができました。体験だけでなくクイズや工夫した学習シートで、子供たちに伝わりやすい内容でした。

提供事業者の声  
ベネッセコーポレーション 孫氏

毎年港区の小学生たちへ環境問題について楽しく学べる場を提供していただき、ありがとうございます。クイズや実験で学んだことを日常生活の中で実践できることを願っています。

## 環境は、ツナガル

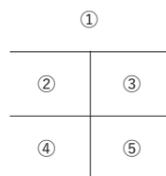
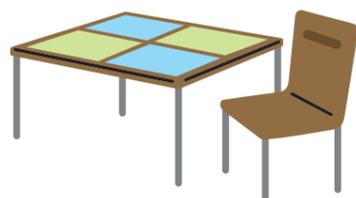
企業と環境展／発信ツール



シンポジウムやワークショップだけでなく、様々なツールでPRを行いました。会場となったカフェでは、一般来場者に対してテーブル広告（写真①）、ポスター展示（写真②）、ラック展示（写真③）を行いました。テーブル広告は、事業者の取り組みや環境活動、自社PRなどを11社・20枠に協力いただきました。またポスター展示は10社15枚と過去最高の展示数でヒルズカフェを飾ることができました。ラック展示は、11社18種類となり、各事業者の活動に興味を持っていただいた来場者が持ち帰る姿もありました。

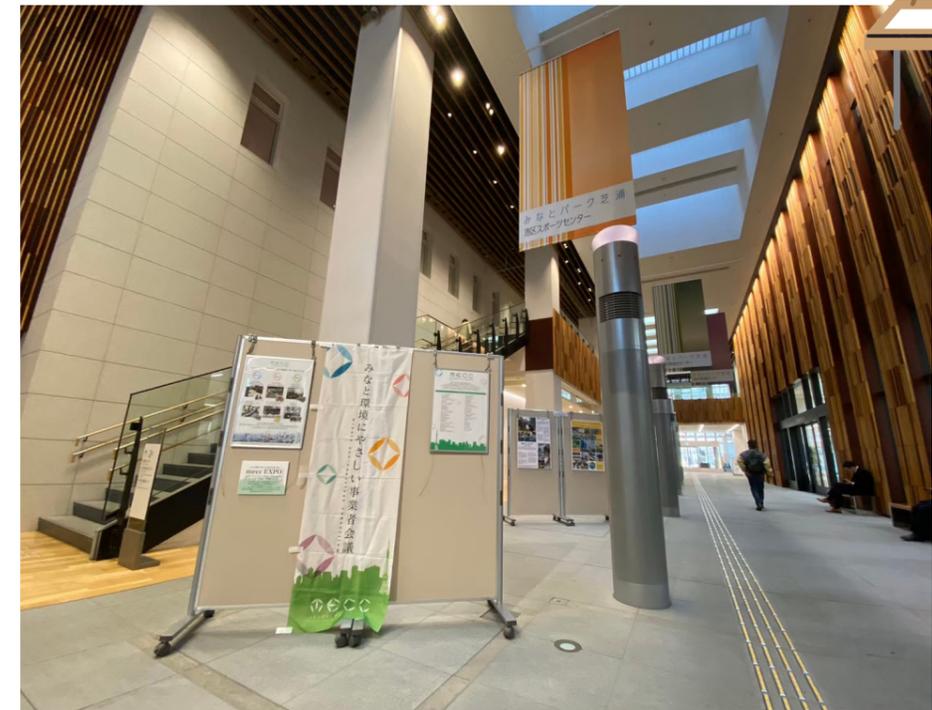
今年の親子向けワークショップの配布チラシ（写真④）は「タマ&フレンズ」とコラボレーションし、小学生だけでなく保護者からも好評でした。

ヒルズカフェの通行者に対しては、看板（写真⑤）とのぼりてアピールし、mecc活動を知らせていただく機会となりました。



## 会員事業者の取り組みを広く発信

mecc EXPO



12月2日～12月26日の1ヶ月間、各会員事業者の取り組みをまとめて区民に発信するイベント「mecc EXPO」を開催しました。4回目の開催となったこのイベントは、例年エコプラザで開催していますが、今回初めて、みなとパーク芝浦での開催となりました。

1階はパネルによる情報発信を中心として、来館者が見やすく興味を持っていただけるように動線に対して斜めに配置するレイアウトを心がけました。また、2階は各会員事業者の活動報告書や関連冊子、展示物等を配置したテーブルで囲む

うにレイアウトし、来館者が一通り壁沿いに歩くだけで理解いただけるように工夫しました。みなとパーク芝浦は展示エリアや展示方法で制限があり、展示事業者数は残念ながら前年より減少しましたが、エコプラザとは少し異なる来場者に対しても広く会員事業者の環境活動を発信できたことは大いに収穫になりました。



展示は、各社ポスターを作ったり、環境に対する取り組みの製品を展示したり様々でした。meccの活動報告書も展示していましたが、毎週補充に行くほどで、区民の方にmecc活動を知っていただくことができました。

観覧数累計

1,600名

- 日時：2019年12月2日（月）～12月26日（木）
- 会場：みなとパーク芝浦 アトリウム
- 展示協力：オイシックス・ラ・大地、東京ガス 東京中支店、東京放送ホールディングス、日本電気、西松建設、日本自動車連盟、日本通運、プロネクス、文化放送、文星閣、ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、横浜ゴム、ベジリンク、サイオス、みなと環境にやさしい事業者会議、合計20事業者

会員事業者の声  
西松建設 川嶋氏

mecc EXPOに毎年出展させて頂いております。今年は展示場所が変更されましたが、区民の皆様が気軽に立ち寄れる場所でしたので、当社の取り組みを知って頂く非常に良い機会になりました。又、他のmecc会員の皆様の取組みも拝見でき、今後の活動の参考になりました！

meccは、地域、区民、企業が一体となり  
 発信・参加・学習することで  
 新しいアイデアがカタチになる  
 活気ある場を提供しています。  
 mecc会員になって、一緒に活動しませんか？

### meccに参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議は企業の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、区民、企業が同じ立場にたち業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。

環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、そして、アイデアが次々にカタチになっていく活気のある場を提供しています。

また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。

### 「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO<sub>2</sub>削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験

- 入会資格 「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心のある事業者。  
事業規模の大小、法人の形態（株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等）を問いません。
- 年会費 5万円（1口）◎会費等は、事業運営費等に充てられます。
- 主な取組み
  - ・総会の開催（年1回） ・「企業と環境展」の開催（年1回）
  - ・分科会の開催（事業の内容に応じて） ・各イベントの実施（打ち水、クリーンアップなど）
  - ・meccセミナーの開催 ・meccツアー（視察・見学ツアー）の実施
  - ・みなとSDGs ・スポGOMI大会



### 2019年度mecc会員一覧

アクセンチュア株式会社  
 あすか製薬株式会社  
 株式会社安藤・間  
 NECキャピタルソリューション株式会社  
 株式会社NJS  
 オイシックス・ラ・大地株式会社  
 株式会社大林組  
 笠井設計株式会社  
 鹿島建設株式会社  
 カワセ印刷株式会社  
 サイオス株式会社  
 サントリーホールディングス株式会社  
 株式会社シュガーアンドスパイス  
 昭和電工株式会社  
 株式会社新正堂  
 スズデン株式会社  
 世紀東急工業株式会社  
 一般財団法人世界聖典普及協会  
 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
 株式会社ダイフク  
 株式会社知識経営研究所  
 都築電気株式会社  
 DSM株式会社  
 テクノプロ・ホールディングス株式会社  
 東京ガス株式会社 東京中支店  
 株式会社東京フォレストパワー  
 株式会社東京放送ホールディングス  
 西松建設株式会社

一般社団法人日本自動車連盟  
 日本たばこ産業株式会社  
 日本通運株式会社  
 日本電気株式会社  
 日本道路株式会社  
 株式会社博報堂  
 株式会社長谷工コーポレーション  
 PHC株式会社  
 日比谷総合設備株式会社  
 フィリップ モリス ジャパン合同会社  
 株式会社プロネクサス  
 株式会社文化放送  
 株式会社文化工房  
 株式会社文星閣  
 株式会社ベジリンク  
 株式会社ベネッセコーポレーション  
 本田技研工業株式会社  
 丸新運輸株式会社  
 三井倉庫ホールディングス株式会社  
 三菱自動車工業株式会社  
 港区  
 明治学院大学  
 森永乳業株式会社  
 森ビル株式会社  
 ヤマハ株式会社  
 横浜ゴム株式会社  
 リコージャパン株式会社  
 株式会社ROSSO